

消毒方法

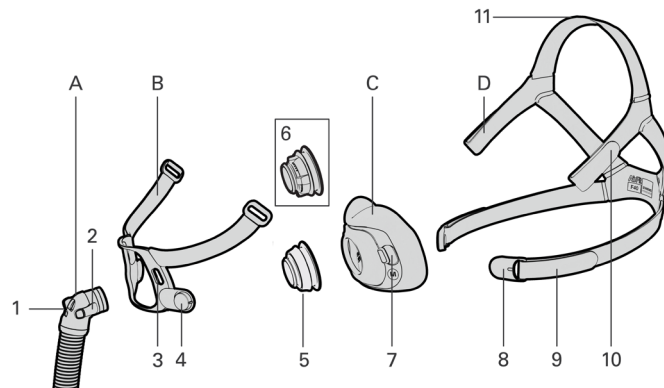
医療従事者専用

本ガイドは、睡眠センター、クリニック、または医療機関のもとで、複数の患者によるAirFit F40マスクの再利用を想定して作成されています。単一の使用者としてマスクを自宅でお使いになる場合は、取扱説明書の洗浄手順をご覧ください。担当者は、レスメドによる検証済みの手順に沿って確実に再処理を完了させてください。すべての洗浄、すすぎ、および消毒の工程で、硬度150 mg/L以下の飲用水の使用を推奨します。現地の規制によって医療機器の再処理に関する水質要件が課されている場合は、それらの要件を遵守してください。

マスク構成品 ¹	洗浄	検証済みサイクル数
	Alconox™ (弱アルカリ性陰イオン洗剤)	
	熱水消毒	
	手作業 75°Cで30分間 80°Cで10分間 90~93°Cで1~10分間	
クッション	✓	30
マスクフレーム	✓	
マルチホール呼吸排出孔リング	✓	
エルボー付き短チューブ	✓	
ヘッドギア	✓	
QuietAir™呼吸排出孔リング	-	複数の患者への使用を意図したものではありません ²

¹ 利用できない地域があります。これらのマスクの正しい使用方法に関する詳細は、取扱説明書を参照してください。利用可能な交換部品の一覧は、ResMed.comの製品ガイドをご覧ください。

² 違う患者に使用する場合は、新品の部品に取り替えてください。



- | | | | |
|---|------------------|----|---------------|
| A | エルボー付き短チューブ | 7 | クッションスタッド |
| B | マスクフレーム | 8 | マグネットクリップ |
| C | クッション | 9 | 下部ヘッドギアストラップ |
| D | ヘッドギア | 10 | 上部ヘッドギアストラップ |
| 1 | 窒息防止弁 (AAV) | 11 | トップヘッドギアストラップ |
| 2 | サイドボタン | | |
| 3 | マスクフレームスタッド孔 | | |
| 4 | マスクフレームマグネット | | |
| 5 | QuietAir呼吸排出孔リング | | |
| 6 | マルチホール呼吸排出孔リング | | |

手作業による洗浄・消毒手順

1. 分解	取扱説明書の指示に従ってマスクを分解します。
2. 洗浄	<p>1. 製造販売元の指示に従い、弱アルカリ性陰イオン洗剤と水の溶液を作ります。レスメドは以下を検証済みです。</p> <ul style="list-style-type: none"> Alconox 濃度1% (10 g/L) 30~55°C <p>2. すべてのマスク構成部品を5~10分間浸します。気泡が出ないようにしてください。</p> <p>3. 上記の時間が過ぎたら、構成部品を溶液に浸したまま、毛先の柔らかいブラシで以下のように内側と外側を洗浄します。マルチホールエルボー付き短チューブの内部を洗浄するには、チューブ/ボトルなどに用いる毛先の柔らかいブラシが必要です。隙間や孔の中は特に注意を払ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> クッション/マスクフレーム/ヘッドギア 1分間のブラッシング マルチホール呼吸排出孔リング 1分間のブラッシングの後、溶液の中で1分間ゆすぎます。呼吸排出孔には特に注意を払ってください。 エルボー付き短チューブ 30秒間のブラッシング (最低15秒間の短チューブ内のブラッシングを含む) <p>4. 20~60°Cの流水がすべての表面に当たるようにしながら、構成部品をすすいでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> クッション/マルチホール呼吸排出孔リング/エルボー付き短チューブ 30~60秒間のすすぎ洗い マスクフレーム 布地部分を繰り返し絞りながら、30~60秒間のすすぎ洗い ヘッドギア 繰り返し絞りながら、90秒間のすすぎ洗い
3. 点検と乾燥	<p>1. 点検し、必要であれば[2.洗浄]のすべての手順を繰り返し、汚れが目視で無いことが確認できるまで洗浄します。</p> <p>2. 布地部分をよく絞り、余分な水分を取り除きます。</p> <p>3. 直射日光のあたらない場所でマスク構成部品を自然乾燥させます。すぐに熱水消毒を続ける場合、乾燥させる必要はありません。</p>
4. 消毒	<p>1. 以下に挙げる温度と時間の組み合わせのいずれかを用いて、熱水にマスク構成部品を完全に浸します。構成部品をゆすぎ、気泡がないことを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 75°Cで30分間、または 80°Cで10分間、または 90~93°Cで1~10分間 <p>2. 布地部分をよく絞り、余分な水分を取り除きます。</p> <p>3. 直射日光のあたらない場所で構成部品を自然乾燥させます。</p>
5. 点検	マスク構成部品を1つずつ目視で検査します。マスク構成部品に目に見える劣化(亀裂、細かなひび、裂け目など)が確認された場合は、当該構成部品を廃棄し、交換してください。シリコン製部品がわずかに変色することがありますが、問題ありません。
6. 再組立	取扱説明書の指示に従ってマスクを再度組み立てます。
7. 保管と輸送	保管と輸送の詳細については、取扱説明書をご確認ください。

一般的な警告事項および注意

- 必ず洗浄・消毒の指示に従ってください。洗浄剤の中には、マスクおよびその部品や機能に損傷を与えるものや、有害な残留蒸気を残すおそれがあるものがあります。指定された最大サイクル数の超過など、このガイドに記載されている手順から逸脱した場合、マスクに悪影響を及ぼし、その結果、治療の安全性や品質が損なわれるおそれがあります。
- 指示されたとおりにマスク構成部品をしっかりと洗浄・消毒しない場合、消毒が不十分になることがあります。
- 洗浄消毒装置を使用する場合は、各製造販売元の取扱説明書に必ず従ってください。それらの説明書の指示が本書と矛盾する場合は、本書の指示を優先してください。
- 必要に応じて適切な個人用保護具 (PPE) を使用するなど、常に安全な作業方法に従ってください。詳細については、製造販売元の取扱説明書を参照してください。